

六甲山自然案内人の会・定例観察会

太山寺の原生林「照葉樹林の森を見る」

実施日・平成18年8月26日(土)

集合場所・太山寺山門前 10時(AM)

参加者・56名 (会員25名・一般参加者31名)

天気・晴れ、気温 \pm 34℃

コース・太山寺山門→ 太山寺北の原生林(33観音めぐりコース)→ 帝釈観音堂前→ 山頂(169.9m)
→ 太山寺山門前

テーマ・「照葉樹林の森を見る」

配布資料

- 1: 太山寺 (参考資料①「神戸の植生」②「神戸のシダ」より)
- 2: 太山寺周辺図 (神戸市発行 1:2500 地図の一部)
- 3: 原生林の特徴
- 4: 兵庫の自然史「氷上回廊」(県立人と自然の博物館の資料より抜粋)
- 5: 皆さんいくつ読めますか(樹木の漢字名) (樹木図鑑より抜粋)

観察会

🌟 今日の予定案内 (配布資料・2)

受付に手間どり今日のコース案内までに大幅に時間を要しました、今後の反省材料として見直します、
これに懲りず今後の観察会に参加してください。

🌟 10時30分ごろ観察会スタート。(出発が遅れたこと世話人一同お詫びします)

🌟 太山寺境内のトイレ借用。

🌟 原生林入口で、照葉樹林の観察ポイントについて説明 (配布資料・1)

🌟 森林インストラクターによるシイ林など説明と観察。

🌟 11時40分山頂にて昼食。

🌟 昼食後資料配布、(配布資料、4、5)とその話。

🌟 ウバメガシ群落の観察。

🌟 太山寺山門前で解散。(15時少し前)

バス便の関係で流れ解散になりました。

世話人一同反省しています。

観察された種類

【木本】 コジイ、アラカシ、ナナメノキ、ヒメユズリハ、ヤブツバキ、カナメモチ、ヤマモモ、カクレミノ、
リュウブ、ヒサカキ、タイミンタチバナ、ウバメガシ、モチノキ、クリ、ツルグミ、ナワシログミ、マルバア
オダモ、ネジキ、コバノミツバツツジ、モチツツジ、ヤブニッケイ、クチナシ、テイカカズラ、イタビカズラ、
フジ、

【草本】 ミヤマヨメナ、【シダ】 マメツタ、ノキシノブ、イノデ、ヒトツバ、

担当・世話人、日下部秀夫、久保順一、久保統一

次の観察会・9月24日・紅葉谷方面

10月21日・東お多福山方面



六甲山自然案内人の会





遠方から自然林を見る
照葉樹林が丸みを帯びたスカイラインを描く。
(人工林の杉林と比較すると違いが解る)



照葉樹林の森から天井を見る
1本1本の木の広がりや隣の木と重なり合っ
ていよろに空間を分け合っている。
(ジジーバズルのような)

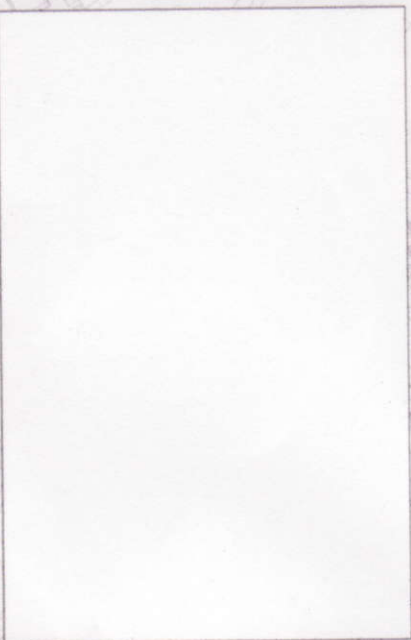


カナメチ



ヤマモモ

植物の移動・兵庫の自然史「氷上回廊」より



皆さんで確認されたものを記録してください。



野仏に見守られ観察会が実施された



木が枯れて穴の開いた
森の天井
木が枯れた場所では天井に
ぽっかりと穴が空いている。
森の中に光が差し込み次世
代の幼木が育つ。
(若木にチャンス到来)



光を求めて
林床のシダも光を求めて、より高いところへ。



●◆■▲▼●◆■▲▼●◆■▲▼●◆■▲▼●◆■▲▼●◆■
H18年度の六甲山自然案内人の仲間づくり 第8回の報告
●◆■▲▼●◆■▲▼●◆■▲▼●◆■▲▼●◆■▲▼●◆■

第8回目は8月26日(土)

今回は、六甲山自然案内人の定例自然観察会に合流しました。六甲山自然案内人仲間作り参加者12名、スタッフ、一般参加者等を含めて総勢56名の大観察会になりました。この仲間作りの目的は、六甲山自然案内人を増やして行く事です。そうした意味で、今回は皆さんの先輩の活動に触れて頂く機会になったと考えています。

10:00 集合(山門前)

挨拶(久保、久保、日下部)、仲間作り合流を紹介

10:30 出発(山門前~大山寺)、トイレ

大山寺~原生林入口

- ・山門は再建。以前はもっと大きかった。一部が残っている。
- ・大山寺の北側がシイの原生林。南側はもう少し混ざっている。・田圃、畑:イチビ(外来種)、ウツギ(バイカウツギ?)、カボチャ、等々。
- ・クズ(太陽の光を浴びて葉の裏側を向ける)。原生林入口~山頂
- ・原生林のレクチャー:山の斜面の高木層はツブラジイ(樹冠はツブラジイで覆われている)が優占。森の中に入って、他の高木、亜高木、低木が見られる。草本層は貧弱。山の上部(尾根、崖地)はウバメガシが優占。(再度山はスタジイが優占。)
- ・タイミンタチバナ(葉はキョウチクトウの様)、イタピカズラ、ツルグミ、イスノキ、タラヨウ(葉が葉書になる)、コジイ(10数m)、フジ、テイカカズラ(葉の裏の葉脈が太い)、ヤマモモ、ミヤマヨメナ。
- ・石仏。(2体がペアで、1体が剥ぎ取られた様になっている。)
- ・アベマキ、サカキ(先端の新芽が鉤状)。

12:30 昼食

13:00 レクチャー~下山~大山寺

- ・日本の分水嶺と氷上回廊。氷上回廊の分水界は95m。日本界側の由良川(竹田川)~瀬戸内海側の加古川(佐治川)は魚類からもつながっていた経緯がアブラボテ、ニゴイ等からも分かる。過去には由良川から加古川に向かって流れていた事も確認されている。植物ではカナメモチ、ヤマモモの分布からカナメモチは氷上回廊に沿って若狭湾に達しており、ヤマモモは若狭湾に置き去りにされた形(隔離分布)になっている。六甲山が南限や北限になっているのも、こうした地形による事が考えられる(タニウツギ、オオイワカガミ、ユキグニミツバツツジの例)。
 - ・樹木の漢字名の説明。・ウバメガシ、ヒメユズリハ、シャシャンボ、クチナシ(実が成っていた)、ヤマモモ、ツルウメモドキ、カナメモチ。
 - ・ライトスコープの話。磨崖仏。
- 13:30 大山寺~山門前
- ・大山寺の説明。・六甲山自然案内人観察会、仲間作りの次回の紹介。

14:00 解散(山門前)